平成１６年１２月期　第３四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 16 年 11 月 8 日

会　社　名　　株式会社ラックランド　　（コード番号：9612　登録銘柄）
（URL　http://www.luckland.co.jp）
代　表　者 役　職　名　代表取締役社長
氏　　名　望月　圭一郎
問い合わせ先　責任者役職名　執行役員管理本部長補佐
氏　　名　鈴木　健太郎　　（Tel：（03）3377－9331）

１．四半期業績の概況の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無　：　有

税金費用の計上基準及びその他影響額が僅少なものについては、簡便な方法を採用しております。

②最近会計年度における会計処理の方法の変更の有無　：　無

２．平成 16 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

売上高以外の項目については、当期より四半期業績の開示を実施しているため、前年同四半期実績及び増減率については記載をしておりません。

（百万円未満切捨て）

(1) 経営成績の進捗状況

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期(四半期)純　利　益
	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%	百万円　　%
16 年 12 月期第 3 四半期	9,707（　9.6 ）	426（　－　）	406（　－　）	277（　－　）
15 年 12 月期第 3 四半期	8,856（　－　）	－（　－　）	－（　－　）	－（　－　）
(参考)15 年 12 月期	14,065	763	868	414

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円　銭	円　銭
16 年 12 月期第 3 四半期	37　20	37　19
15 年 12 月期第 3 四半期	－　－	－　－
(参考)15 年 12 月期	102　84	－　－

(注)　1.　売上高におけるパーセント表示は、対前年第 3 四半期増減率を表示しております。

2.　当社は、平成 16 年 2 月 20 日付をもって普通株式 1 株につき 2 株に分割しております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における 1 株当たり当期純利益は 51 円 42 銭であります。なお、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第３四半期におけるわが国経済は、企業の人件費抑制姿勢に引き続き厳しさが残るものの、企業収益の改善や個人消費の増加など、緩やかな回復基調を保っております。

このような状況のもと、当社では常にお店をご利用して頂く一般消費者の目線で店舗物件の紹介やテナント斡旋の拡大、企画・設計力の強化、施工精度の向上、メンテナンス体制の充実など、トータルサポートサービスの充実に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期の業績は、売上高は97億７百万円、営業利益は４億２千６百万円、経常利益は４億６百万円、第３四半期純利益は２億７千７百万円となりました。

次に部門別売上高と各部門の営業概況は以下のとおりであります。

部門別売上高

期別 部門	平成15年12月期 第３四半期	平成16年12月期 第３四半期	前年同四半期増減率
	百万円	百万円	%
スーパーマーケット関連部門	4,282	5,257	22.8
フードシステム関連部門	3,976	3,119	△21.5
営業開発部門	―	734	―
保守メンテナンス部	596	595	△0.3
合計	8,856	9,707	9.6

スーパーマーケット関連部門

スーパーマーケット業界においては、４月から始まった消費税の総額表示により、一般消費者に「値上がり感」を与えた面もあり、買上品数の減少による売上高の減少が顕著に現れました。しかし、「値頃感」の維持に努めた一部の小売業においては、これを好機と捉え出店攻勢に転じる傾向が見られました。

このような企業へのトータルサポートサービスに努めた結果、スーパーマーケット関連部門の第３四半期までの累計売上高は、52億５千７百万円（対前年同期比22.8%増）となりました。

フードシステム関連部門

外食業界においては、店舗数が増加しているにも拘わらず、全業態トータルでの店舗利用客数が前年並にとどまるなど、依然伸び悩んだ状態が続いております。

また、ＢＳＥや鳥インフルエンザの影響から、業態の見直しに時間を要したこともあり、設備投資時期に遅れが見られます。

このような状況下で、フードシステム関連部門の第３四半期までの累計売上高は、31億１千９百万円（対前年同期比21.5%減）となっております。

営業開発部門

アミューズメント施設の新装工事を手掛け、営業開発部門の第３四半期までの累計売上高は、７億３千４百万円となりました。

保守メンテナンス部門

機器の性能向上や修理依頼の手控え等によりメンテナンスコールは減少傾向にあるものの、省エネや営繕修理提案活動を推進した結果、保守メンテナンス部門の第3四半期までの累計売上高は、5億9千5百万円（対前年同期比0.3%減）となっております。

(2) 財政状態の変動状況

	総　資　産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円　銭
16年12月期第3四半期	11,789	4,091	34.7	547　61
15年12月期第3四半期	―	―	―	―　―
(参考)15年12月期	12,198	3,709	30.4	984　96

(注)　当社は、平成16年2月20日付をもって普通株式1株につき2株に分割しております。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前事業年度における1株当たり株主資本は492円48銭であります。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期と平成15年12月期末を比較した資産・負債等の主な増減要因は次のとおりであります。

資産の主な減少要因は、前期の第4四半期での売上高の増加と前期末が休日であったこと等により売上債権が増加したためで、総資産は4億9百万円減少いたしました。

負債の主な減少要因は、借入金の返済を進めたためで、7億9千1百万円減少いたしました。

また、資本の増加要因は、利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の増加によるもので、3億8千2百万円増加いたしました。

3．平成16年12月期の業績予想（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
通　　期	14,900	860	450	60　22

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

［業績予想に関する定性的情報等］

平成16年12月期業績予想は上記のとおりであります。なお前回公表（平成16年8月9日付）の業績予想の変更は行っておりません。

以　　上

○　添付資料

・　四半期（要約）貸借対照表、四半期（要約）損益計算書

【添付資料】

1.四半期（要約）貸借対照表

（単位：百万円未満切捨）

期別 / 科目	当第3四半期末（平成16年9月30日現在）		前事業年度（平成15年12月31日現在）	
	金額	構成比	金額	構成比
（資産の部）		%		%
流動資産	8,475	71.9	8,844	72.5
現金及び預金	4,656		3,708	
受取手形	1,322		1,879	
売掛金	2,171		2,908	
たな卸資産	159		116	
その他	165		231	
固定資産	3,314	28.1	3,354	27.5
有形固定資産	1,900	16.1	1,912	15.7
建物	234		244	
土地	1,587		1,587	
その他	78		81	
無形固定資産	35	0.3	18	0.1
投資その他の資産	1,378	11.7	1,422	11.7
投資有価証券	1,217		1,022	
その他	160		399	
資産合計	11,789	100.0	12,198	100.0
（負債の部）		%		%
流動負債	6,183	52.5	6,573	53.9
支払手形	1,822		1,991	
買掛金	1,897		2,110	
短期借入金	1,000		800	
一年以内返済予定長期借入金	508		1,149	
一年以内償還予定社債	498		48	
その他	456		474	
固定負債	1,513	12.8	1,915	15.7
社債	480		954	
長期借入金	942		877	
その他	91		83	
負債合計	7,697	65.3	8,488	69.6
（資本の部）				
資本金	1,524	12.9	1,524	12.5
資本剰余金	1,716	14.6	1,716	14.1
資本準備金	1,716		1,716	
利益剰余金	1,061	9.0	926	7.6
利益準備金	76		76	
任意積立金	669		520	
第3四半期（当期）未処分利益	315		328	
その他有価証券評価差額金	201	1.7	△ 44	△0.4
自己株式	△ 411	△ 3.5	△ 411	△3.4
資本合計	4,091	34.7	3,709	30.4
負債・資本合計	11,789	100.0	12,198	100.0

【添付資料】

1.四半期(要約) 損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

科目 ＼ 期別	当第3四半期 自 平成16年 1月1日 至 平成16年 9月30日		前事業年度 自 平成15年 1月 1日 至 平成15年 12月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
		%		%
Ⅰ. 売上高	9,707	100.0	14,065	100.0
Ⅱ. 売上原価	8,532	87.9	12,282	87.3
売上総利益	1,175	12.1	1,783	12.7
Ⅲ. 販売費及び一般管理費	749	7.7	1,020	7.3
営業利益	426	4.4	763	5.4
Ⅳ. 営業外収益	79	0.8	173	1.2
Ⅴ. 営業外費用	99	1.0	68	0.5
経常利益	406	4.2	868	6.1
Ⅵ. 特別利益	116	1.2	160	1.1
Ⅶ. 特別損失	20	0.2	280	1.9
税引前第3四半期(当期)純利益	502	5.2	747	5.3
税金費用	225	2.3	333	2.3
第3四半期(当期)純利益	277	2.9	414	3.0
前期繰越利益(△前期繰越損失)	37		△ 85	
第3四半期(当期)未処分利益	315		328	